広報おうら
ORA TOWN Public Relations
平成26年1月号 No.568
毎月1日発行

〈第三十二回〉

若い人たちに語り継ぎたい、
次の世代に残しておきたい。
貴重な話をお届けします―。

あすへひとこと

「邑楽町の昔ばなし」より

渋沼の行人塚（ぎょうにんづか）

狸塚地内の国道354号沿いにある行人塚
かつての行人塚の隣に遺跡を復元し、後生に伝えています

昔、渋沼と沖之郷（太田市）に悪病が、まん延していました。たまたま越後（新潟県）の方から一人の修行僧が渋沼の里を通りかかったといいます。

僧は、渋沼の家々に病人がいるのを見て、自分の身に代えて難渋する村人を救う覚悟をしました。僧は村人の見守る前で野原に自分の体が入る穴を掘り始めました。やがて穴が掘りあがると、身ぐるみの姿で、この穴に入りました。

僧は水も飲まず食べ物も食べず、断食して一心不乱に悪病退治の念仏を唱えていましたが、やがて力尽きそのまま成仏してしまいました。すると、あんなに苦しんでいた病人たちも元気を取り戻したといいます。

僧が成仏した場所の回りの田を病田（やまいだ）と呼んでいます。行人塚には僧の遺体と錫杖（しゃくじょう）がそのまま理没しているらしいと語り伝えています。ちなみに、狸塚にも行人塚があります。

狸塚高原（たかはら）の国道354号添いにある行人塚からは、江戸時代中頃のものと思われる人骨と錫杖・古銭それに数珠玉などが出土しています。これらは町指定重要文化財になっています。この遺跡は、元の隣に複元されています。

民衆の苦しみや災いを取り除くために、自ら進んで一命を捧げた僧の慈悲に、ただただ感銘するばかりであります。

行人塚出土の錫杖（しゃくじょう）
【狸塚地内から出土／町指定重要文化財】
行人塚は衆生済度（しゅじょうさいど）※1を目的として、生きながら入定（にゅうじょう）※2した塚のことです。平成2年、行人塚の発掘調査が行われ、人骨と錫杖、古銭、数珠玉などが出土しました。

※1衆生済度…迷いの苦しみから生きとし生けるものを救って、悟りの世界に渡し導くこと。
※2入定…位の高い僧が死去すること。

【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会
平成10年12月31日発行「高齢者の語り（第六集）あすへひとこと」より

まちの風景

静かな昼下がり
（多々良沼公園）

Photo 原田隆雄（記録ボランティア）

ひとりごと From editors

▶平成25年11月から広報広聴係に配属になり、広報誌編集などを担当することになりました。町の歴史、その時代の空気感や雰囲気、人々の感情などが形になる広報誌。今月号は邑楽村の頃から数えること568号目。▶そんな広報誌の表紙に載った私の家族。昭和63年6月号で前原浅間神社の初山に参加する父と母と弟（豪樹）が、平成9年7月号で南中学校のウオークデーで空き缶を拾う妹（樹理）が。▶さて、成長輪ともいわれる樹の年輪は木の断面に生じる同心円状の模様で、成長のあかし。木部と樹皮の境で細胞分裂が起こり、新しい年輪を作っていきます。頼れる先輩と協力して、また次の年輪を重ねていきたいです。よろしくお願いします。ちなみに、下の名前は大樹です。（深澤）

編集・発行 邑楽町役場企画課
〒370-0692（住所記入不要）
TEL 0276-88-5511（代表）
TEL 0276-47-5007（企画課直通）
FAX 0276-89-0136
URL http://www.town.ora.gunma.jp
E-mail kohou@town.ora.gunma.jp

邑楽町携帯サイト
2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。
携帯用URL http://www.town.ora.gunma.jp/k

VEGETABLE OIL INK
この広報誌は、自然保護のため植物油インキを使用しています。